



# 2012-2013 年度 地区補助金事業報告

プロジェクト名: 社会福祉法人 福祉広医会 特別養護法人ホーム「悠悠タウン江波」にリクライニング & ポジティブ自走式(拘束せずに姿勢をキープし、前を向ける機能)車イスを2台、寄贈する。

## プロジェクトの概要について

一般的に、特別養護老人ホームには様々な身体状態の方が入居され、「悠悠タウン江波」においてもそれは同様である。様々な身体状況の入居者の個別の体型に対応が可能な、高機能の車イスの配備が望まれているが、高価である為に配備できていないのが現状である。

高機能(リクライニング & ポジティブ自走式)車イスの導入により、リンクライニング式車イスでなければベッドから離れることのできない多くの入居者が安楽な姿勢でベッドから離れる事ができるようになる。また、食事の姿勢が改善され、誤嚥予防が可能になる、座り褥瘡予防機能によりベッドを離れられる時間が取れるようになる等、入居者の生活利便性や健康状態の向上が図られる事となり、大変意義のあることと考え、当クラブではこの高機能車イスの寄贈を行うこととしました。

また、このプロジェクトの実施によりクラブ会員が地域福祉の現状など、更に理解を深めるいい機会となるよう取り組みました。

## 実施報告

2012年10月11日(木)、「悠悠タウン江波」において贈呈式を実施し、その模様は新聞などで紹介されました。

また、10月25日(木)の例会に「悠悠タウン江波」の施設長、主任生活相談員の方にお越しいただき、広島の問題や特別養護老人ホームの役割などをお聞きし、福祉問題の現状など理解を深めることができました。



(2012年10月12日中国新聞朝刊掲載)



10/25 例会での報告の様子